

上田市教育委員会 10月定例会会議録

1 日 時

平成28年10月19日（水） 午後3時10分から午後4時10分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小林 一雄
教育長職務代理者	城下 敦子
委 員	寺島 滋
委 員	北沢 秀雄
委 員	平田 利江子

○ 説 明 員

中村次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、小井戸学校教育課長、小林生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所係長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、黒岩第二学校給食センター所長、竜野中央公民館長、大滝川西公民館長、飯島上田情報ライブラリー館長

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) 重点目標の中間報告について（教育総務課）

○ 資料1により小井戸学校教育課長説明（要旨）

中間報告ということで今回、上半期の状況についてまとめた。学力の定着・向上については、向上委員会のなかに小委員会を設置した。小委員会については「(仮称)私の家庭学習ノート」をあらたに作成するという目的のためにつくったが、現在、5回の会議のうち4回が終了しほぼ最終案ができた段階にきている。29年度全校実施という目標であったが、小委員会の先生のいる約10校について、29年度モデル的な先行実施ということを考えている。そのなかで改正事項について要望、改善等を反映した形で平成30年の全校実施を目指していきたいと考えている。

英語教科化への対応とコミュニケーション能力の充実については、英語教科化推進委員会を今年度設置した。委員の先生は17名をお願いし、現在1回目の会議が終わった。そして、グループ別の教頭会を設け、学年別に分科会で会議を進めている。また、英語教科化については文科省からの具体的な動向が明らかになったあと計画策定に着手する。

タブレット型端末の導入事業については、既に8小学校、3中学校について夏休み中までに配備が終わり2学期からの使用ができている。ほぼ、目標については達成している。

地域とともにある学校づくりでは、コミュニティスクールになるが学校ホームページ等により地元への情報発信はすべての学校で行われている。また運営委員会を設置しやすくするための学校評議員の要綱改正等についても改正が終わったところである。

放課後児童対策の充実については、トットの家の新築工事であるが予定どおり1月末の完成を目指して工事が進んでいる。支援員の処遇改善については現在、処遇改善額の年数加算部分の申請が終わり今後、額の確定を行い12月までには指定管理料のなかで職員の処遇改善ということで予算を確定していきたい。

○ 資料1により小野沢教育総務課長説明（要旨）

食育の推進・充実に向けた環境の整備、学校給食施設の整備に向けた検討については、この8月に学校給食検討会議という庁内の部局内の検討部会を立ち上げた。これは、教育総務、学校教育、各給食センターの所長、栄養士等のメンバーであるが、現在、検討会議を2回、部会を1回開催している。これについては概ね月1回、プラス必要なときに開催し、検討を進めていく。

次に、学校施設のあり方の検討と計画的な改築・改修による教育環境の整備について、まず、上田市公共施設マネジメント基本方針策定に基づく学校施設のあり方の検討については、現在、相対的な検討を進めているが、8月に県の主催の学校施設長寿命化研修会に担当職員が出席し、全国の事例を研究してきた。今後、教育施設に限らず全庁的な見直しの庁内の検討会議があるのでここでの学校施設のあり方を加味して検討していく。

小中学校施設の耐震化事業の計画的な推進については、昨年からの継続事業である。川西小の改築についてはプールの改築工事は5月に実施設計、着手した。既存プール解体の改築工事に着手し、旧管理棟とプールの改築工事については8月に旧校舎の解体が終了し、プールの解体は10月中に完了する予定である。外構工事は7月から実施設計に着手した。本原小学校の管理教室棟の改築では、管理普通教室棟については29年1月竣工に向けて工事が進んでいる。その後、仮設校舎の解体をして年度内に完了する予定である。第二中学校の改

築事業については最後に残っていた外構工事で、予定より大幅に遅れたが10月に竣工した。第三中学校の改築事業については、年度内の竣工を目指し現在、体育館と北校舎の改築を進めている。第四中学校の改築事業は、屋内運動場が9月に竣工した。竣工式は来月を予定している。プールの改築事業については5月に実施設計に着手した。旧屋内運動場の解体は8月に着工し、外構工事は9月に実施設計に着手した。屋内運動場の非構造部材耐震化工事については9月に東小学校が完了し、残り最後の城下小は10月に完了する予定である。9月末の耐震化率は校舎・屋体が99.5%で、非構造部材が94.3%ということで残りの工事が竣工すれば100%である。

小中学校の営繕等の関係であるが、前半期かなり各中学校で水回りの故障があり、予算額ベースでいくと執行済額は小学校で79.2%、中学校で50.6%、全体では69%である。小学校のシャワー施設の関係であるが、塩田西と丸子北が既に終了し、残りの6校は今年度末までに竣工予定である。

○ 資料1により浅野文化振興課長説明（要旨）

文化遺産の継承・活用と文化芸術活動の充実について、4つの柱を立てている。まず、文化団体との連携事業の開催については、上田城跡能、城下町映画祭、文化講演会の開催を計画しており、これらについては、上田城跡能は既に終了し、あとの事業についても日程が決まっており順次進めていくことになっている。小中学校への芸術家派遣事業についても計画どおり進んでおり、残り何校かは10月以降派遣される予定になっている。子ども文化講座、文化祭の開催については11月以降、両方とも開催する予定である。

史跡等整備推進と文化財の保護と活用については、計画どおり順調に進んでいる。文化財de文化祭の事業については、まだ定例会に報告を出していないが7月18日に射水館で開催、10月9日には生島足島神社の神楽殿で開催した。

郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出については、大河ドラマの関連事業、そして郷土の文化歴史や偉人の業績をテーマとした特別展及び講座の開催、そして郷土の文化・歴史に係る資料の調査研究ということであるが、これらについても今のところ順調に事業が実施されている。新規事業で、ふるさと上田人物伝の編集があるが、現在執筆中であり年度末の刊行を目指している。

「上田市歴史文化基本構想」の策定事業については、協力していただけるコンサルタント会社を決定し、現在、市内の古民家、そして仏像等の調査を開始し、実施している。

○ 質疑

北沢委員

質問と要望であるが、「ふるさと上田人物伝」の読者対象は、子どもなのか、大人になるのか。こういうものをつくることは市の文化的な遺産になるので、非常に好感が持てる事業である。原稿執筆中とあるが、冊子ができてしまうと書くための資料が散逸することがたびたび見受けられる。複数の方で書いていると思うが、実物とか写真とかCD等いろいろな形で、記録として基礎資料が散逸しないようにまとめて残しておくようなシステムを確立しておくことをお願いしたい。

浅野文化振興課長

この冊子は中学生を対象にしている、50名程度偉人を選出している。合併10周年記念事業として実施するが、まだほかにとり上げなければいけないという人が出てくるかもしれないため、それがいつになるかわからないが、これで終わりではないと考えている。市誌を

作ったときもそうであったがそのときに使ったいろんなデータはちゃんと管理していきたい。

小林教育長

これについては、データを提供してくださる方に呼びかけもしているということである。

○ 資料 1 により小林生涯学習課長説明（要旨）

生涯学習の推進による地域の教育力の醸成について、社会教育施設の計画的な整備で西部公民館の建替推進については、6月に契約が確定し、3月竣工に向けて順調に工事が進んでいる。神川地区公民館の整備に向けた検討については用地の年度内の購入に向けて調整を行っており、現在、最終段階である。今後、3月の議会の議決を経て契約という形で進めている。上田図書館の整備に向けた検討については第二次上田市図書館基本構想の事務局案を図書館協議会のほうで提示し検討を進めている。

地域と連携した学校を支援する取組の推進については、現在、学校教育課、生涯学習課、公民館で学校支援プロジェクト会議を立ち上げ、学校支援の継続的な仕組みづくりについて検討を行っているところである。現在としては10月16日号に広報うえだで地域住民に周知するための記事を掲載した。今後も引き続き進めていく。コーディネーター養成講座については、長野県の生涯学習推進センター主催の講座に9月までで2回、学校評議員の方を中心に参加した。

○ 資料 1 により宮崎人権同和教育政策幹説明（要旨）

人権同和教育・啓発の推進については、上田市人権施策基本方針に基づく人権同和教育の推進をするということで、市内小中学校、PTA、自治会、企業等において様々な機会を捉えながら人権教育・啓発を進めているところである。人権同和教育に関する講演会・研修会の実施で具体的な数値目標としては年間で36,000人以上を目標に掲げている。これに関する中間報告として、学校、地域等で講演会などを約300回開催し、現在、10,500人の参加を得ている。数字は半分にはいっていないが、11月には各小中学校で人権月間として取り組むことや、公民館等でこれから人権懇談会等が開催されることから概ね予定通りの結果と考えている。

○ 資料 1 により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備について、体育施設使用料の統一については、担当者による会議を開催し、新料金を検討してきた。その検討案について体育協会の施設委員会においても説明しご意見をいただいた。新料金によったシュミレーションも実施している。この条例改正については12月の市議会定例会へ上程する予定で考えている。

スポーツ施設整備の推進については、スポーツ施設整備基本構想で公共施設マネジメント基本方針の内容との整合を図る必要があるということで現在、見直しを行っている。

市民のスポーツへの関心や参加意欲の促進については、各種イベントの実施からスポーツ教室の実施、また広報うえだ等による情報発信を行っているところである。また、全国大会出場者に対して奨励金を前半期18件交付した。夢の教室は10月以降に集中しており前期は実施がなかった。10月以降7校14クラスの実施予定でありその打ち合わせを行った。総合型スポーツクラブについては情報共有と事業連携を図るため会議を実施している。

○ 質疑

城下委員

学校教育課の支援プランの推進について、説明では全体的に中間報告のところを読んでいただいただけであるが、少し中身もあわせて説明していただけると様子がわかってよい。例えば、家庭学習ノートも5回予定していたうち4回実施済みであるが今、どんな感じのものができあがっているかを見せていただいたり、タブレットの配備では2学期から使用を開始していることなので、まだ拾い上げるには日数的に厳しいかとも思うが、子どもたちの反応や先生の感想など、何かそういうところで情報が上がってきているようなら、そういう部分もお知らせいただければありがたい。また、コミュニティスクールを導入促進するため評議員を運営委員に活用しやすくするための要綱改正とあるが、具体的にはどんな点か。どういうところを変えると評議員を運営委員に活用しやすくなるのか疑問である。

教育総務課の学校給食検討会議では会議2回、部会を1回開催しているが、内容はどんなものであったかお知らせいただくと様子がわかってよいと思う。その辺の報告の仕方を工夫していただけるとよいのではないか。また、表の期間、期限の欄の表記について、4月から3月となっているが、他では通年と書かれているところもある。4月から3月ということは通年と捉えてよいのか。

小野沢教育総務課長

通年ということである。表記を統一したい。

小井戸学校教育課長

補足説明で、家庭学習ノートは3パターン考えている。中学生用、小学校高学年用、低学年用である。中身としては、子ども自身が自分で計画をする欄、計画に対してどうだったか自分なりに評価をする欄、もうひとつは親の目で見たという確認を、毎日ではなく一週間で見開き1ページぐらいのものを用意する。一週間を通して親もコメントやサインでもいいが親が必ず見たという、家庭と学校がわかるような中身を考えている。他県のを参考にして、今、ほぼできつつある。タブレットの関係は導入して間もないということもあり、3年計画で予定している。シナノケンシで開発していた読むためのソフトがあるが、試験導入で入れた学校もあったが、入っていない学校に優先して入れてきた。しばらくシナノケンシからお借りしている状態で期限になったらお返りする。活用についてはソフトをダウンロードできるシステムがあるが、学校で必要なものをダウンロードしたり申請したり使い始めた段階である。コミュニティスクールについては、評議員を6人以内とするという規定があるが、ただし書きにより教育委員会が認めた場合にはこの限りではないという一文を付して、人数に余裕を持たせるという要綱の改正を4月に行った。

小野沢教育総務課長

補足説明で、食育の推進の内部検討組織の協議の状況ということであるが、今まで検討会議を2回、部会を1回開催したが、この検討会議では、給食センターの仕様を固めて設計を業者に発注する上で、基本的な給食センターの実施計画を1冊の仕様書という形でまとめるという作業にこれから入る。第1回目においては、給食センターの基本的なあり方ということでまずは統合センターにするという点についてと、手作りの食材を活用した取り組みや、地産地消は当然新しいセンターでも推進するというセンターの基本方針を固めた。現センターの現状と課題と、その課題を統合センターで解決するにはどういった取り組みが必要であるかという観点から、課題を洗い出して、整理を行った。また、どういった大きさの食器を使うのか、何種類の食器を使うのか、それによって使う機材が決まってくるので、食器の種類と材質について検

討した。2回目は分科会の結論と地産地消の推進について更に検討し、先進地の視察についても行うことを決定した。今後については、食器の基準が決まると、こういった洗浄機にするのか、調理機具はどういったものを配置するのか、スペース的に手切りにするにはどうしたらいいかそういった細かい積み上げができるので、これから半年間かけて仕様を固める。そのような状況である。

小井戸学校教育課長

訂正であるが、家庭学習ノートは中学校が1パターンで、小学校が低・中・高の3パターンになり全体で4パターンである。

○ 全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) 教育総務課関係寄附の状況（教育総務課）

○ 全委員 了承

(2) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 資料3により小井戸学校教育課長説明（要旨）

9月からふるさと寄附金の区分が増えた。政策企画課で見直しをし、今まで月平均で数件であった寄附が、9月だけで483件であった。これは返礼品の充実や、金額も8,000円という区分を入れたということもあり集中したようである。今回から月、件数、金額という形でお願いしたい。その他の寄附の関係は個人の方から北小学校へコンビネーション遊具外一式9,000,000円相当の寄附をいただいた。

○ 全委員 了承

(3) 第11回人権を考える市民のつどい開催結果報告（生涯学習課）

○ 資料4により宮崎人権同和教育政策幹説明（要旨）

第11回人権を考える市民のつどいが、10月6日（木）にサントミューゼ大ホールで行われた。講師に養老孟司さん（東京大学名誉教授）にお越しいただき、演題は、「希望は『壁』の先にある 養老流～人生を楽しむ極意～」という講演会の内容であった。また、市民団体の活動アピールとして「バリアフリー合唱団 コールレインボー」による合唱もあり、参加者数は約1,500人であった。

○ 質疑

寺島委員

駐車場が満車であり、駐車場に入ってから満車であると戻されてしまった。入る前に大通りで誘導してもらおうとスムーズに行くのではないかな。

宮崎人権同和教育政策幹

毎年、駐車場の問題が課題になっている。1,500人集まるなかで300台ほどしか入らないのでどうしても無理がある。誘導の仕方が難しいが研究させていただき、来年度はう

まくいくようにしたい。

○ 全委員 了承

(4) 生涯学習シンポジウム事業結果報告について（生涯学習課）

○ 資料5により小林生涯学習課長説明（要旨）

平成28年9月17日（土）に上田駅前ビル・パレオ2階会議室において生涯学習シンポジウム「災害や非日常的な出来事が起きた時、人々は、何を見て、何を思い、何をし、そして何を伝えたのか？」をテーマにシンポジウムが開催された。講師に兵庫県立松陽高等学校教諭の諏訪清二氏と上田市塩田公民館社会教育指導員の鈴木久男氏をお呼びし、講演いただいた。参加者は男性40人、女性14人の計54人であった。アンケートの結果をみると、約90%の方からよかったという回答をいただいた。

○ 質疑

平田委員

参加された方はどういった方が多かったのか。

小林生涯学習課長

例年来てくださる方もいるが、今回、広報うえだでお知らせをし、電話で予約をしていただいた。信毎にも載せていただいたので新聞を見て申し込んでいただいた方、災害のテーマだったので今回、城下地区の防災関係の団体からかなり大勢来ていただいた。中身もよかったので広報の仕方をもうちょっと工夫し、来年も多くの方に来ていただけるような形をとりたい。

平田委員

危機管理の問題は大切なことである。何回も繰り返しこのような講座があればよい。

○ 全委員 了承

(5) 4大学リレー講座開催について（生涯学習課）

○ 資料6により小林生涯学習課長説明（要旨）

4大学リレー講座が10月29日（土）・11月12日（土）・19日（土）・26日（土）の4回にわたって開催される。29日は信州大学繊維学部、12日は長野県工科短期大学、19日は上田女子短期大学、26日は長野大学で、それぞれ講座のあとにキャンパスツアーがあり、学生気分学びながら楽しめる内容になっている。どなたでも受講でき、参加費は無料である。また、全回を受講した方には修了証を発行する。

○ 質疑

城下委員

高校生はどのくらい来るのか。

小林生涯学習課長

昨年は上田東高校の学生が、先生からの紹介で何名か参加していただいた。今年も、高校にもチラシを配布し、参加を呼び掛けたい。

城下委員

地元の大学も素晴らしい学校があるとわかっていただくためにも是非、大勢来てくれるとありがたい。

○ 全委員 了承

(6) 文化振興関係寄附の状況（文化振興課）

○ 全委員 了承

(7) 第20回うえだ城下町映画祭の開催について（文化振興課）

○ 資料8により浅野文化振興課長説明（要旨）

第20回うえだ城下町映画祭が11月14日（月）～18日（金）は上田映劇で、11月19日（土）、20日（日）は上田文化会館で開催される。自主制作映画コンテストやロケ地ミステリーツアー、トークセッションなどを予定している。

○ 質疑

城下委員

聖地巡礼が流行っている。ロケ地のところにここはこの映画のロケ地であると、のぼり旗のようなものがあれば、過去に上映された映画でも賑わいにつながるのではないか。

○ 全委員 了承

(8) 第30回古戦場ハーフマラソン実施報告（スポーツ推進課）

○ 資料9により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

10月2日（日）に第30回上田古戦場ハーフマラソンが開催された。ゲストランナーにロンドンオリンピック日本代表の尾崎好美さんをお迎えし、県営上田野球場前をスタートする5コース、12種目が行われた。参加人数は、2,581名であった。合併10周年、また30回記念大会ということもあり参加記念のタオルに真田丸のロゴを入れた。

○ 全委員 了承

(9) スポーツ関係市長表敬訪問者報告（スポーツ推進課）

○ 資料10により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

7月22日から24日に開催された2016スカイランニング世界選手権に出場された選手の方が市長表敬訪問をされた。記念品としてスポーツドリンク、大河ドラマ館招待券、大河ドラマクリアファイルなどを差し上げた。

○ 全委員 了承

(10) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課）

○ 全委員 了承

4 〈その他〉

- ・竜野中央公民館長より公民館だより説明

○質疑

城下委員

丸子の11月8日の「子どもの明日を考える集い」の資料をいただきたい。

石井丸子地域教育事務所長

資料のほうができあがったら委員のみなさんに配布したいと思う。

○ 全委員 了承

- ・石井丸子地域教育事務所長よりチラシ「クリスマスキャロル」説明

○ 全委員 了承

閉会